



もとみや

議会だより

第69号

令和4年1月発行

みんなでお面作り！
(どんぐり保育園)

議案審議.....P.2~3

新年度予算編成要望を提出.....P.6

一般質問12名が登壇.....P.7~13

本宮市議会 ホームページアドレス <http://www.city.motomiya.lg.jp/site/gikai/>
メールアドレス gikai@city.motomiya.lg.jp



各会計補正予算など 13 議案を可決

定 12 例 月 会

12月定例会（第6回本宮市議会定例会）は、条例の制定や各会計補正予算など13議案が提出され、採決を行った結果、すべての議案を全会一致で原案どおり可決しました。

令和3年度 一般会計補正予算(第8号)

11億540万円を増額

《主な内訳(第8号)》

歳出	
農業水利施設等保全再生事業国庫補助金過年度精算金	… 5億9,230万円
新型コロナウイルス感染症対策事業委託料	… 1億4,814万円
歳入	
農業水利施設等保全再生事業基金繰入金	… 5億9,229万円
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金	… 1億1,876万円

今議会に提出された令和3年度一般会計補正予算(第8号)の主なものは、歳出では、新型コロナウイルスワクチン3回目接種にかかる委託料等関連経費、米価下落対策としての奨励金、災害時の緊急避難場所であるしらさわグリーンパーク野球場へのシャワー室設置関連工事費などが計上されました。また、歳入では、震災復興特別交付税の増額、国庫補助金の増減や不足する財源に対する各種基金からの繰入金などが計上されました。

新型コロナウイルスワクチン3回目接種関連経費を計上

一般会計補正予算(第8号)

議案質疑

福島原子力発電所事故の賠償金支払い状況は

問 福島原子力発電所事故に伴う損害賠償金過年度分が計上されている。現在まで、請求はしているが、補填されていないということだったが、現状はどのようなになっているのか。

答 これまでの全ての請求額を合わせると、11億6,736万円となっております。現時点で支払いを受けた金額は2億3,097万円である。支払率については19.8%となっている状況である。今回は支払いが困難であると考えていた人件費が支払い対象となった。

一般会計補正予算(第9号)追加議案

子育て世帯等臨時特別支援事業費を計上

今議会に提出された令和3年度一般会計補正予算(第9号)では、子育て世帯等臨時特別支援事業費が歳入歳出それぞれに計上されました。

しらさわグリーンパークの避難場所としての機能向上

予算額3,411万円、緊急防災減災事業債を活用



しらさわグリーンパーク野球場にシャワー室設置工事を行うこととなった。

耕作意欲維持のために奨励金を交付

予算額4,709万円 10aあたり5,000円を交付

JAが行う、下落対策に上乗せする形で次期作支援として、肥料、種もみの購入経費の2分の1を補助することとした。

令和3年11月30日
第5回臨時会

令和3年度本宮市一般会計補正
予算（第7号）などを可決

11月30日に第5回臨時会が開かれ、市長から議案8件、議員から発議1件が上程されました。

議案は、福島県人事委員会勧告に基づく特別職、一般職及び特定任期付職員の期末手当を引き下げるための条例の一部改正、それに伴う職員等の人件費などにかかる補正予算であり、審議の結果、賛成多数で全議案可決しました。

議員発議については、人事委員会勧告に基づき、議員の期末手当を引き下げるため、本宮市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正するもので、全会一致で可決しました。

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会には、本宮市税特別措置条例の一部を改正する条例制定のほか、議案4件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。



▲委員会での審査の様子

福島復興再生特別措置法に基づく特定事業活動における固定資産税の課税免除に関する条例制定

説明 風評被害に対する活動の振興を図るため、農林水産業や観光関連産業を実施する事業者に対して、対象施設の新設または増設に係る固定資産税の課税免除を行う。

問 固定資産以外の活動費等に対する減免や支援は。

答 風評被害活動に対し新設・増設した固定資産が対象であり、固定資産以外の活動費等に対する減免等はない。また、減免を受ける場合には計画を作成し、県の指定を受ける必要がある。

**一般会計補正予算
(第8号)**

説明 ふるさと納税について、7～9月までの寄付分を、ふるさとみやみや応援基金積立金へ充当する。

問 返礼品に対する寄付者の反応は。

答 12月1日よりアサヒビールスーパードライを返礼品に追加し、1週間で22件の希望があった。随時、魅力ある市の特産品を返礼品に追加していきたい。

説明 保育士確保の一環として、保育士派遣業務委託料を補正する。

問 保育士派遣の活用状況は。

答 本市での活用は今回が初めてである。基本的には会計年度任用職員の採用を進めているが、病休や退職等による臨時的な対応として保育士派遣を実施するものである。

生活福祉常任委員会

生活福祉常任委員会には、令和3年度本宮市一般会計補正予算（第8号）のほか、議案2件が付託されました。主な審査内容は、次のとおりです。



▲本宮市サテライト防災備蓄倉庫

**一般会計補正予算
(第8号)**

説明 災害廃棄物処理計画の策定や3回目の新型コロナウイルス感染症対策事業における人件費や消耗品費、委託料の補正を行う。

問 災害廃棄物処理計画とはどのような計画か。また、いつ策定されるのか。

答 令和元年東日本台風及び福島県沖地震の対応や処理実績を踏まえ、災害廃棄物の適正かつ円滑な処理のため、今後予想される災害に備える計画であり、令和4年度中の計画策定を目指していきたい。

**介護保険特別会計
補正予算(第4号)**

説明 地域包括ケアシステム推進業務委託料の補正を行う。

問 地域コミュニティ強化のための方策は。

答 地域づくりに関する先進地から講師を招き、講話や新たな通いの場づくりとして、小規模の集いの場における介護予防の体操指導や栄養教室の実施によりコミュニティ創出を予定している。

現地調査

福島交通路線バス（本宮市役所～郡山駅間）及び一中体育館裏と総合体育館の本宮市サテライト防災備蓄倉庫の現地調査を実施した。

産業建設常任委員会



▲本宮駅東西自由通路等新設工事箇所

産業建設常任委員会には、令和3年度本宮市一般会計補正予算(第8号)のほか、議案4件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

一般会計補正予算 (第8号)

説明 復興庁の福島再生加速化交付金を活用して風評払拭に資するデジタルコンテンツの制作を含む情報発信を行う。

問 デジタル情報発信の内容について。

答 新型コロナウイルス感染症拡大により、なかなか着地型観光PRができないうちで、ホームページやデジタルサイネージを利用した市の観光情報発信を進めていくためより多くの方々に発信していきたいと考えている。

説明 大山・松沢線について、標準工期に9カ月を要し、12月補正予算分も併せて年度内工事が困難であることから繰越明許を設定することから

問 大山・松沢線整備事業の工事の完成は。

答 今年度予算分と9月補正分も含め入札を行い、390メートルの道路改良と残りの根岸工区を含めて工事を行う予定である。

問 次年度以降の工事予定は。

答 長屋平・高槻工区については、今後用地取得を予定しており、来年度完成を目指していく。残りの県道から岳山方面への先線となる越田・大岩入工区については、ルート見直しを含めた調査を来年度以降行う予定としており、越田・大岩入工区からは先が工事が完了している。

現地調査

本宮駅東西自由通路等新設工事箇所の現地調査を実施し、工事の進捗状況等の確認を行った。

議決結果一覧表

議案番号	議案名	議決結果
議案第98号	福島復興再生特別措置法に基づく特定事業活動における固定資産税の課税免除に関する条例制定について	原案可決確定
議案第99号	本宮市税特別措置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第100号	本宮市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第101号	荒井等仮置場原状回復工事請負契約について	原案可決確定
議案第102号	市道路線の廃止について	原案可決確定
議案第103号	市道路線の認定について	原案可決確定
議案第104号	新市基本計画の変更について	原案可決確定
議案第105号	令和3年度本宮市一般会計補正予算(第8号)	原案可決確定
議案第106号	令和3年度本宮市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決確定
議案第107号	令和3年度本宮市水道事業会計補正予算(第5号)	原案可決確定
議案第108号	令和3年度本宮市公共下水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決確定
議案第109号	白岩小学校屋内運動場災害復旧改修工事(建築主体)請負契約について	原案可決確定
議案第110号	令和3年度本宮市一般会計補正予算(第9号)	原案可決確定
	議員派遣について	決定
	閉会中継続調査申出書(各常任委員会)	決定

12月定例会では、議案に対する討論はありませんでした。

市長へ新年度予算編成要望書を提出



本市では、「『笑顔』あふれる『人』と『地域』が輝くまちもとみや」を将来像に掲げ、地域の主体性と歴史を尊重しつつ住民相互の融和に努めながら、地域の特性を活用した発展するまちづくりを進めています。

令和元年東日本台風災害や令和3年2月発生の地震、さらには、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民を取り巻く環境は大きく変化し、市政に与える影響が懸念されるところであります。

そのような中、感染症対策と地域経済対策を両立し、より効率的・効果的な財政運営を実行することは、市民の信頼と理解を得る上で大変重要であることから、市議会として12月1日に市長へ令和4年度予算編成に対する要望書を提出しました。

要望事項の一部を紹介いたします。

総務文教常任委員会

- ・複雑・多様化する行政課題や新たな課題に迅速に対応できる職員の人材育成に努めること。
- ・社会情勢の変化や新型コロナウイルスによる影響など、多様な行政需要に的確かつ柔軟に対応するため、国県等の特定財源の確保に努めるとともに、本宮市財政運営計画に基づいた適正な財政運営に努めること。
- ・待機児童解消のために、保育士の確保に努めること。
- ・全国学力・学習状況調査、学力検査等の実施と結果の分析を行い、学力向上のための方策を講ずること。

生活福祉常任委員会

- ・デジタル社会の基盤として、マイナンバーカードの普及を図り、市民の利便性向上のためコンビニ交付サービスと併せ、マイナンバーカードを活用した事業を促進すること。
- ・脱炭素社会の実現に向け、市民や市内企業の意識の醸成を図るとともに、2050カーボンニュートラルの実現に向け、事業を推進していくこと。
- ・新型コロナウイルスワクチン接種の3回目追加接種について、発症及び重症化予防のための接種率向上に努めること。
- ・第8期介護保険事業計画に基づき、介護保険サービスの提供体制の充実に向け「小規模多機能型居宅介護」「認知症対応型共同生活介護」基盤の整備を進めること。

産業建設常任委員会

- ・本宮インターチェンジ周辺の開発に向けた基本構想を早期に策定すること。
- ・都市公園や児童公園の景観に配慮しながら、安心・安全な施設環境の維持を図ること。
- ・恵向公園の復旧に伴い、今後の利活用を充分に考慮した協議・検討を進めること。
- ・農業担い手の育成・確保を図ること。認定農業者や新規就農者への支援を行うこと。

一般質問

市政を問う

12月定例会の一般質問は、12名の議員が登壇し、3日間にわたって行われました。

1 議員2題、内容を要約してお伝えします。

8ページ…

■菊田広嗣 議員（志誠会）

- ・DX推進に係る人材育成・確保は太陽光発電設置補助の引き上げは
- 磯松俊彦 議員（みらい創和会）
- ・健康づくりについて
- ・インフラ施設整備のあり方は

9ページ…

■馬場亨守 議員（無所属）

- ・本宮インター周辺企業誘致について
- ・市道の整備について
- 作田博 議員（無所属）
- ・景観条例制定について
- ・道の駅創造について

10ページ…

■遠藤初実 議員（無所属）

- ・祝日もごみ回収の所がある理由は体の不自由な高齢者への施策は
- 斎藤雅彦 議員（新風会）
- ・マイナンバーカードの保険証利用は
- ・市消防団の組織見直しの考えは

11ページ…

■渡辺由紀雄 議員（みらい創和会）

- ・災害復旧工事の遅れの原因は
- ・荒廃農地の非農地化促進は
- 菅野健治 議員（無所属）
- ・不登校の現状、解消対策は
- ・いじめの現状、解消対策は

12ページ…

■渡辺秀雄 議員（無所属）

- ・通学路の安全確保について
- ・腐朽破損家屋に対する取り組みは
- 石橋今朝夫 議員（みらい創和会）
- ・新たな詐欺手口の対応はあるのか
- ・子ども条例制定の考えは

13ページ…

■川名順子 議員（新風会）

- ・市営住宅に手すりと浴槽の公費設置は
- ・带状疱疹ワクチン接種の助成は
- 渡辺忠夫 議員（日本共産党）
- ・米価下落対策にはもっと支援を
- ・待機児童ゼロ対策について



▲施設の維持管理徹底を（岩角農村公園）

問 健康力アップ事業は平日働いている住民の方にとっては参加しづらい事情も考えられるが、創意工夫があっても良いのではないか。

答 旧町内においては、商店街振興のためにも歩行を前提とし生活できるまちづくりに公共駐車場の整備は。



問 健康づくりについて

答 平日勤務の方への対応も検討

磯松 俊彦
議員
(みらい創和会)

問 健康力アップ事業は平日働いている住民の方にとっては参加しづらい事情も考えられるが、創意工夫があっても良いのではないか。

答 現在のところ、高齢者中心に実施している。勤務されている方の対応は土日等の開催になるが充分調査検討している。

問 岩角農村公園内の施設に危険な状態で立ち入りできない所がある。この状態はいつから続いているのか。

答 住民の方との協議を踏まえた今後の方向性は、本宮市公共交通計画案が示すような変化を意図しているのか。

問 インフラ施設整備のあり方は市の方で管理するべきもの

答 公園内の階段の部分になる。平成28年に除染終了後、修繕等に結論が出せず現在に至った。地域の方々と引き続き話し合いを行い方向性を出していきたい。

問 自治体が積極的に様々な分野のデジタル化を推進して行くことが必要と閣議決定されたが、専門知識が必要となる。人材確保をどのように考えているのか。

答 内部では研修会等の積極的な参加で情報、認識の共有を図っている。外部人材については専門職の新規採用や民間の人材の柔軟な確保が必要。

問 家庭用太陽光発電システムは価格の低下もあり、発電量が多いものを取り付ける家庭も増えてきている。ゼロカーボン推進のためにも電力消費が多い家庭にこそ必要だが、現在の補助上限では4kWまでとなっている。上限引き上げの考えは。

答 一般家庭で導入されるパネルの最大出力に上昇傾向が見られる。一方で売電ではなく自家消費の考えで蓄電池導入のニーズが高まっている。現在の4kWの上限引き上げではなく、蓄電設備を組み合わせた支援の拡充を検討したい。

問 太陽光発電設置補助の引き上げは蓄電設備などの支援の拡充を検討

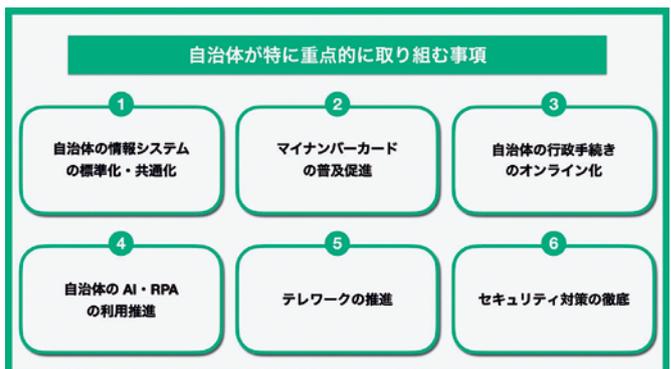
答 内部では研修会等の積極的な参加で情報、認識の共有を...

問 家庭用太陽光発電システムは価格の低下もあり、発電量が多いものを取り付ける家庭も増えてきている。ゼロカーボン推進のためにも電力消費が多い家庭にこそ必要だが、現在の補助上限では4kWまでとなっている。上限引き上げの考えは。

答 一般家庭で導入されるパネルの最大出力に上昇傾向が見られる。一方で売電ではなく自家消費の考えで蓄電池導入のニーズが高まっている。現在の4kWの上限引き上げではなく、蓄電設備を組み合わせた支援の拡充を検討したい。

その他の質問

- ・DX推進の必要性について市の見解は
- ・ゼロカーボン推進と太陽光発電の関係の見解は



▲デジタル化による利便性と市民サービスの向上を



問 DX推進に係る人材育成・確保は

答 デジタル人材の柔軟任用が必要

菊田 広嗣
議員
(志誠会)

問 太陽光発電設置補助の引き上げは蓄電設備などの支援の拡充を検討

答 内部では研修会等の積極的な参加で情報、認識の共有を...



▲効率的な市道の整備を



問 本宮インター周辺企業誘致について

答 数社話があり実現に向けて進める

馬場 亨守
議員
(無所属)

問 実現の可能性は、市長3期目立候補に当たって公約に掲げている。長年の懸案だった企業誘致については市長が動かなければ、なかなか進まない。そのような中で、市長は職員に対して今までの3年間の間にどのような指示を出したのか。

答 インター周辺の会社、社名、一部上げることができると、そうではない会社、守秘の協定を結んでいる会社があるが、数社、そのような会社とのやり取りをしている。実現に向けて進めている現状である。

問 市道の整備について

答 年間約八千二百萬円で修繕を進めている

問 ①今年度における未整備市道は、修繕費を全部消化するということがなれば0.7%実質公債費比率が上がる。子孫に先送りは避けて欲しい。②路線ごとの整備、修繕は同じ路線を3回ほど③市道孫市・太子堂線の調査結果は。

答 ①修繕の延長39km、概算費用13億円を想定している。道路予算を極端に増やすことはできない。効果的な改修をしている。②今後まとめて補修等を行い、経費の縮減に努める。③現在、測量を行っている。整備については年次計画で行う。



問 景観条例制定について

答 条例制定の予定はない

作田 博
議員
(無所属)

問 青田にメガソーラーが創設された。大規模な建築物の新築等を行う際、本市には条例がないため県の景観条例の範疇で進められた。二本松市・大玉村では制定されている。指導助言のできる景観条例を目指してはいか

答 二本松市・大玉村は独自に制定しているが、条例で制限する内容は、県の景観条例と大きな違いがないという状況である。基準に達していない場合、指導・助言・勧告は正が可能なので市の条例制定の予定は現在のところない予定である。

問 道の駅の創造について

答 市民の意見を聞かせてもらって

問 政府は地方創生の拠点と位置づけ、福祉・観光・地域経済・活性化など市町村の抱える様々な分野の課題を解決する主要施設とした。経営は独立採算制を基本に創意工夫で運営されている。将来をどのように考えているのか。

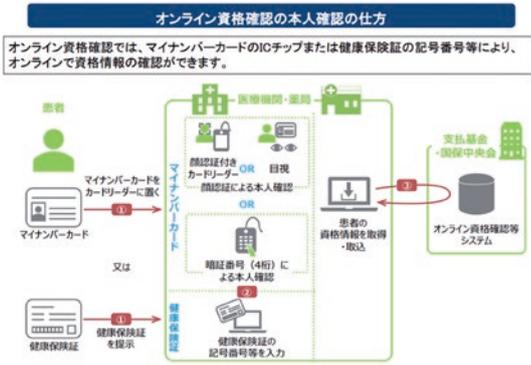
答 本宮の道の駅をインター、五百川駅周辺という話になるだろうと思うが、私の構想の中では別な形で進んでいる状況がある。市民の意見を聞いて首長として検討しているかなければならないと思うことになってくるかと思う。

その他の質問

・復興のまちづくりは現在までどのような進展があったのか



▲今後、道の駅の創造は



▲マイナンバーカードの保険証利用の促進を



問 祝日休日は全てゴミ出しができない地区に住んでいる方が、月曜振替休日にゴミ出し出来る所を見て、休日にゴミ回収があるのは差別では、と誤解している市民がいる。

答 同じ曜日を連続で休みにしない方針

遠藤 初実
議員
(無所属)

問 祝日休日は全てゴミ出しができない地区に住んでいる方が、月曜振替休日にゴミ出し出来る所を見て、休日にゴミ回収があるのは差別では、と誤解している市民がいる。

答 月曜日に収集日のある地区は、振替休日でも回収日が増えないように、収集を行う日を指定している。偏りの解消に努めて、一週間のうち一回は可燃ゴミ回収日を確保できるように設定している。

問 体の不自由な高齢者への施策は

答 地域の助け合いと市のフォロー

問 ゴミステーションまで遠方に住む高齢者や、自宅が道路より高い所にあるので帰りが登り坂になり不便を感じる高齢者もいる。

答 ゴミステーションの設置制度や市の方針、そしてサポート面の二つの観点から説明して欲しい。

問 ゴミステーションの設置制度や市の方針、そしてサポート面の二つの観点から説明して欲しい。

答 二十世帯以上の利用が前提で、行政と区長で話し合い、ゴミ収集運搬車の安全を確認して許可をし設置。

地域の方の協力や助け合いが第一義で、要介護認定の世帯は、ゴミ出しサーフティネットとして、ごみ出し支援戸別収集事業を行っている。



▲ゴミ捨てるルールは

問 マイナンバーカードの保険証利用は

答 遅くとも5年度には運用開始に

齋藤 雅彦
議員
(新風会)

問 市消防団の組織見直しの考えは

答 消防団幹部と協議検討していく

問 消防団員の現状分析や、なり手不足などの問題点は何か。消防団の減少による消防力の低下を防ぐため、後方支援などを行う機能別団員を新設する考えはないか。

答 平日中の建物火災の出動人数は平均72名で、出動割合は21%、団員の9割が勤め人で勤務地は半数が市外である。541名の定数に対し46名の欠員がでている。団員が活動しやすい環境、入りやすい環境を整え未来へ継承していく。

問 市役所に専用端末を設置して、カードを持参すれば本人限定で登録のサポートが出来る。市内で利用可能な施設は、白岩診療所、鈴木歯科医院およびウエルシア薬局本宮店の3カ所で、令和4年度中の導入、遅くとも5年度には開始される。

問 マイナンバーカードの保険証利用開始はマイポータルで事前登録が必要だが、スマートフォンやパソコンがない場合の市の対応は。

答 また、マイナンバーカードを保険証の代わりに利用できる市内の病院、診療所および薬局の導入状況は。



▲復旧が進んでいない原因は



問 災害復旧工事の遅れの原因は

答 市の認識が甘く協議に時間を要した

渡辺 由紀雄
議員
(みらい創和会)

問 荒廃農地の非農地化促進は

答 非農地化の手続きを広報していく

問 市内には遊休・荒廃農地が640ヘクタール存在する。土地利用の有効化を図るため非農地化を推進する強化月間を設け、再生可能エネルギーの導入を図りゼロカーボン推進と連動させる考えは。

答 特別に強化月間を設けることは考えていないが、非農地化の手続きについて分かりやすく広報していく。荒廃農地に再生可能エネルギーを導入することは選択肢の一つであり様々な面から検討していく。

問 市道富士内・上沢線災害復旧工事が進まず、地域住民や事業所は不便を強いられている。いつまでも未着手だった原因は。

答 市道富士内・上沢線は改良復旧の協議で市の認識が甘く、国・県との協議に時間がかかってしまった。白岩小学校体育館は実設計に六か月を要した。白沢カルチャーセンターは耐震診断が終了し、利用形態を早急に決定し進めていきたい。



問 不登校の現状、解消対策は

答 昨年と比較して、同等数

菅野 健治
議員
(無所属)

問 新型コロナウイルスの感染を機に不登校の子どもの数は増えている。文部科学省によると2019年は19万6127人、前年比で19.7%も増加している。市内の小中学校の実際は。コロナ禍により現状はどうなっているのか。

答 不登校は、元年度一年間で43件、2年度59件の数。中学生は同じくらい増えてきている。理由については、単一的な理由ではなく、いろんな要素が絡みあって、不登校になるケースがほとんどである。

問 いじめの現状、解消対策は

答 認知基準が変わり、増えている

問 いじめを根絶しようとする理想は長く語られてきた。学校でもいじめをなくするための対策が講じられてきた。しかし、いじめに苦しむ子どもたちの悲しいニュースが報道されている。コロナ禍の中でのいじめの件数は増えているか。その内容は。

答 30年度42件、元年度148件、2年度82件。内容はからかい、嫌なことを言われる、嫌なことを出すなどがある。対策は、道徳の教科を実践し、人間関係の実態を細かく指導している。また、Q・Uテストを2回実施している。

その他の質問

- ・スマホ・タブレットのデメリット対策は
- ・スマホ・タブレット使用制限条例を制定しては



▲市独自の使用制限条例を制定しては



▲詐欺対策の周知徹底を

問 詐欺犯が警察官を装って、詐欺コールセンターがあるなど電話をし、その後、伝える電話番号に電話を掛けさせ、騙された振りをして捜査に協力して欲しいとして、警察だと信じさせ、現金を取る詐欺が始められているが周知徹底と対策の考えは。

答 市内では、警察官をかたる詐欺の電話が先月29日に2件の予兆電話があったと警察署より情報提供があり、すぐに臨時の防災行政無線放送で注意喚起を行った。2件とも実被害はなかったが、今後も警察と連携を図り被害防止に努める。

問 県内13市の中で郡山市、福島市が子ども条例を制定。自治体が子どもの考え方や意見を尊重し、子どもの視点で施策を進める意義は増している。子どもの健やかな成長に向け、市民に理解される条例制定の考えはあるのか。

答 子ども条例については、情報の収集と調査をしており、現在は考えていないが、子ども達に、個別計画である第二期子ども・子育て支援事業計画の基本理念に基づいて、各施策を着実に推進し環境を充実させていく。

その他の質問

・ごみ対策について



問 新たな詐欺手口の対応はあるのか

答 警察と連携し未然防止に努める

石橋 今朝夫
議員
(みらい創和会)

問 今年6月千葉県で小学生5名死傷の交通事故を受け、国からの通達により教育委員会、学校、道路管理者、警察など合同で通学路の安全点検を実施したと聞いているが、点検結果と今後の安全確保に対する取り組みは。

答 危険個所の現地を確認した結果は、軽微な対応で済むものが5カ所、今後予算措置が必要なもの9カ所、順次整備し対応していきたい。安全確保は危険箇所マップの作成や地域の見守り、家庭の協力などを得て進めたい。

問 空き家は日に日に多くなっている状況にあり、空き家がそのまま長く続けば腐朽破損し、風で屋根の瓦などが飛んだり危険な空き家になりかねない。これら特定空き家に対する取り組みはどうしているのか。

答 人が住めなくなっている空き家は実在する。代執行で解体できる制度はあるがまだ取り組んだことはない。健全な空き家をいかに活用し定住の推進につながるかを中心に、特定空き家の解消は所有者と連絡をとり進めていきたい。

その他の質問

- ・コロナワクチン3回目の接種について
- ・行政区の活動について



▲安全確保には歩道の整備が必要



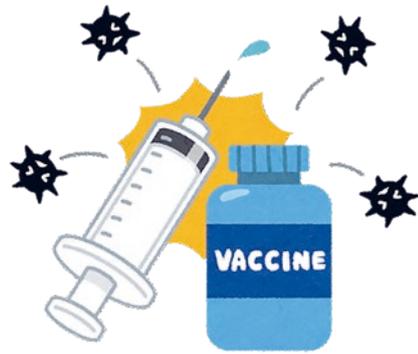
問 通学路の安全確保について

答 順次整備し対応していききたい

渡辺 秀雄
議員
(無所属)

問 腐朽破損家屋に対する取り組みは

答 所有者と連絡をとり解消に努める



▲ワクチン接種に助成を



問 市営住宅に手すりや浴槽の公費設置は

答 衛生環境整備を最優先している

川名 順子
議員
(新風会)

問 市営住宅入居者の高齢化が進んでいる。住まいのセーフティネットの充実、健康で文化的な生活の基盤であることから手すりを設置すべき。浴槽・風呂釜は入居者負担だがアメニティー向上のため公費設置の検討やリース制度を導入の考えは。

答 手すりについては入居されている方の安心・安全を確保するため、公営住宅長寿寿命化計画の中で整備を進めていく。風呂釜・浴槽については早期に公費設置することは困難だが、リースについては民間企業との協議を行い広めていきたい。

問 加齢による免疫の低下が原因で50代から発症率が高くなり80歳までに3人に1人が带状疱疹を発症すると言われている。罹患すると非常に強い痛みにより、生活するのに大変苦労する。このワクチンの市民に周知・接種の助成の考えは。

答 ワクチン接種で病気に対しての免疫力が高まり、発症や重篤化を抑えることができる。予防接種の意義は大きい。発症及び重篤化を防ぐ带状疱疹ワクチンについては、厚生科学審議会での定期接種とするか議論が進められている。

問 带状疱疹ワクチン接種の助成は

答 国の動向を注視していく



問 米価下落対策にはもっと支援を

答 補償ではなく耕作意欲維持のため

渡辺 忠夫
議員
(日本共産党)

問 米価下落対策について、コロナ危機は米価大暴落や畜産、野菜、漁業など農林水産業に大きな打撃となっている。今年度は仮払金や買取価格が2割も安く、4割も安くなっている。下落の実態と対策、支援増の考えについて伺う。

答 米価の下落はコシヒカリで31000円、天のつづ、ひとめぼれ30000円以上の下落。今回市の提案は下落に対する補償ではなく、著しい下落で農業者が来年度の耕作意欲を維持していただくため来年度の作付に関わる一部を支援するものである。

問 待機児童ゼロ対策について

答 保育士の数が要求を満たさない

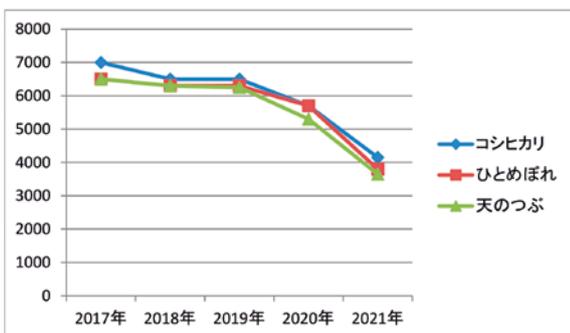
問 子育て対策では、今年もまた保育所の待機児童が出た。待機児童をなくす、出さないというところで今年を進めてきたと思うが、現在何人いて、また、なぜなのか伺う。

答 4月と10月に統計をとっている。10月現在待機児童は6名、内訳はゼロ歳児が5名、2歳児が1名で昨年36名から6名に減った。受け入れ定員や保育士の人数増を図って来たが保育士の数が受け入れ要求にまだ満たしていないことが原因。

その他の質問

・介護保険法改正で利用者の負担増の実態は

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
コシヒカリ	7000	6500	6500	5700	4150
ひとめぼれ	6500	6300	6300	5700	3800
天のつづ	6500	6300	6250	5300	3650



▲近年、米価の下落が著しい

その他の質問

- ・高齢者の健康維持・増進について
- ・子宮頸がんワクチンの接種勧奨再開は

声



12月定例会を傍聴された方は13人でした。今回はその中から野内謙一さん(中條)に傍聴の感想をお聞きしました。

議会傍聴感想

「これで終わり？中途半端だな？」「いつまで通行止めなの？」と街の声。
郵便局脇の長期通行止めの工事の疑問・・・

「あの工事必要だったの。中途半端で利用者も多いのに不便にして」と議員に聞いてみた所、この件は「預からせて下さい」と後日、議会で質問すると連絡を貰い、初めて傍聴することになりました。

議会のイメージは、事前通告の質問に担当部局が答弁する淡々と静かに進行するものと思っていました。

いざ質問が始まると、一問一答形式で、時には激しい質疑が続く場面や、市側や市長が陳謝する場面等があり、予想外でした。さながら国会中継の様でした。

残念ながら、早期開通に至らず来年度予算でとのことでした。

一般市民の声も取り上げて下さり感心しました。

計画的に短期間で効率の良い工事を望みます。

市の発展のために、市も議会もご尽力願います。

野内 謙一

今号の表紙は、どんぐり保育園で撮影しました。撮影した写真の一部をご紹介します。ご協力ありがとうございました。

コロナ第6波襲来注意!!
新しい生活様式
徹底予防でフツの暮らし



次回3月議会定例会は

3月2日に開会予定です。
請願・陳情の締め切りは
2月17日(16時まで)です。

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。

問い合わせ TEL24-5435

あとがき

新年あけましておめでとうございます。昨年十一月に念願の本宮駅東西自由通路と本宮駅舎が供用開始され、東口展望スペースには、本市出身歌手の故伊藤久男さん愛用のピアノが設置されました。駅利用者が自由に引く事ができ、市民の皆様が愛される駅になることを願っています。

新型コロナウイルス感染状況は全国的に変異株の出現など未だ収束を見通せない中にあります。コロナはすぐそこに、ひとりひとりが感染症対策を行い、コロナウイルスが落ち着き、平穏な暮らしができることを望んでいます。

最後に、まだまだ寒さの厳しい日が続きますので、「ご自愛ください。」

(石橋)

発行責任者

議 長 三瓶 裕司

副委員長 石橋今朝夫

委員 齋藤 雅彦

委員 磯松 俊彦

委員 根本 利信

委員 菊田 広嗣

委員 三瓶 幹夫

委員 国分 勝広

委員 渡辺 善元